

教科	外国語（英語）	科目	コミュニケーション英語I	単位数	4				
学年	1学年	科	普通科	専攻・コース	中高一貫				
教科書	LANDMARK English Communication I		副教材	準拠ワークブック ターゲット 1400					
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 具体的な言語活動は以下の通り。									
<p>ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>									
評価の観点		①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解				
評価の観点		コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたらしくして、情報や考えなどを適切に伝えている。英語での話し合い、意見交換、簡潔な作文ができる。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。概要や要点を捉えることができる。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。				
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考					
前期第1回定期試験	Preparatory Lesson 1~4		高校英語の学習に必要な基礎知識を身に付ける。(主語と動詞、品詞、句と節、フレーズリーディング)						
	Lesson 1 What Can Blood Type Tell Us?		<p>〈題材内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液型性格判断に対する日本人と外国人の考え方の違いを理解する。 ・日本で血液型性格判断が流行る2つの理由(血液型分布の差、血液型の認知度の差)を理解する。 ・血液型性格判断の科学性について理解する。 ・「血液型性格判断を信じる／信じない」の事項を含めて英語で自己紹介をする。 <p>〈文法事項〉</p> <p>動名詞、不定詞について理解する。</p>						
前期第2回定期試験	Lesson 2 Curry Travels around the World		<p>〈題材内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレーのルーツや語源を理解する。 ・カレーがインドからイギリスに持ち込まれた経緯や、イギリスで普及した経緯を理解する。 ・明治時代に日本にやって来たカレーが全国に普及した経緯を理解する。 ・日本発のカレー関連食品の世界への広がりを理解する。 ・自分好みのカレーについて意見交換をする。 						

2回定期試験期	Lesson 3 "gr8" or great?	〈文法事項〉	
		分詞の後置修飾、現在完了形について理解する。	
前期末定期試験期	Lesson 4 Gorillas and Humans	〈題材内容〉	
		<ul style="list-style-type: none"> ・英語圏の若者がメールで新種の言語を用いていることを理解する。 ・新種の言語の意味と成り立ちについて理解する。 ・日本語と英語のエモティコンの違いを理解する。 ・新種の言語がもたらす影響について理解する。 ・流行っている新種の言語について情報交換をする。 <p>〈文法事項〉</p> <p>関係代名詞、関係代名詞 what、関係代名詞の非限定用法、S+V(+O)+疑問詞節について理解する。</p>	
中期第1回定期試験期	Lesson 5 Biodiesel Adventure	〈題材内容〉	
		<ul style="list-style-type: none"> ・山極教授のゴリラに対する関心を理解する。 ・ゴリラの胸たたきについて理解する。 ・ゴリラが平和的に争いを回避する方法を理解する。 ・ゴリラの絶滅と携帯電話の関わりについて理解する。 ・絶滅危惧種についてレポートを書き発表する。 <p>〈文法事項〉</p> <p>seem の用法、現在完了進行形、倍数比較について理解する。</p>	
後期第2回定期試験期	Lesson 6 The Doctor with the Hands of God	〈題材内容〉	
		<ul style="list-style-type: none"> ・周生さんがVasco-5による旅を始めた経緯を理解する。 ・周生さんの旅の経過を理解する。 ・周生さんが旅によって得たことを理解する。 ・環境に優しい活動について意見交換をする。 <p>〈文法事項〉</p> <p>過去完了形、使役動詞+O+動詞の原形について理解する。</p>	
後期第2回定期試験期	Lesson 6 The Doctor with the Hands of God	〈題材内容〉	
		<ul style="list-style-type: none"> ・福島医師の医師としてのキャリアを理解する。 ・福島医師の医師としてのモットーを理解する。 ・福島医師が医師になった経緯を理解する。 ・福島医師の後輩や患者との関わり方を理解する。 ・就きたい職業について意見交換をする。 <p>〈文法事項〉</p> <p>It ~ that の形式主語構文、知覚動詞+O+動詞の原形 / 現在分詞、分詞構文について理解する。</p>	

期	Lesson 7 Eco-tour in Yakushima	〈題材内容〉 <ul style="list-style-type: none">・屋久島とエコツアーについて理解する。・屋久島の地理や気候について理解する。・屋久島の3つの観光地(白谷雲水峡, ウィルソン株, 繩文杉)の特徴を理解する。・訪れてみたい日本の世界遺産について書き発表する。 〈文法事項〉 前置詞+関係代名詞, 関係副詞について理解する。 仮定法過去, 仮定法過去完了について理解する。	
学 年 末 試 験			

教科	外国語(英語)	科目	英語表現 I	単位数	2
学年	1	科	普通科	専攻・コース	中高一貫
教科書	Vision Quest English Expression I (啓林館)		副教材	Vision Quest 総合英語	
学習到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
評価の観点	① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ② 外国語表現の能力 ③ 外国語理解の能力 ④ 言語や文化についての知識・理解				
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考	
前期 第1回定期試験	Lesson 1 Let's have lunch together sometime		文法：文の種類 話題：紹介 機能：相づちを打つ・聞き直す 発音：イントネーション		
	Lesson 2 Are you interested in Japanese anime?		文法：文型と動詞 話題：言い換える/話題を変える 機能：興味・関心 発音：リズム		
前期 第2回定期試験	Lesson 3 I'm going to Okinawa with my family.		文法：時制 話題：旅行 機能：計画する・予定する 発音：母音		
	Lesson 4 I hear you've joined the soccer team.		文法：完了形 話題：スポーツ 機能：原因・理由を述べる 発音：子音		
前期 期末試験	Lesson 5 Can you tell me what ammitsu is like?		文法：助動詞 話題：食事 機能：許可を求める・依頼する 発音：カタカナ語		
	Lesson 6 I'm glad I can see the Sydney Opera House.		文法：受動態 話題：観光 機能：喜ぶ/驚く 発音：数字の発音		

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
後期 第1回定期試験		Lesson 7 It's very nice of you to say so.	文法：不定詞 話題：交際 機能：感謝する・謝罪する 発音：アクセント	
		Lesson 8 How about going to see a musical?	文法：動名詞 話題：娯楽 機能：勧誘する・申し出る 発音：つながる音	
後期 第2回定期試験		Lesson 9 I'm for school uniforms.	文法：分詞 話題：ルール 機能：賛成する・反対する 発音：変わる音	
		Lesson 10 How do you spend Christmas?	文法：関係詞 話題：文化 機能：説明する 発音：聞こえなくなる音	
学年末試験		Lesson 11 Did you watch the debate on TV last night?	文法：比較 話題：社会問題 機能：意見を述べる・主張する 発音：文の中での強調	
		Lesson 12 I wish my parents were more understanding.	文法：仮定法 話題：悩み事 機能：助言する・提案する 発音：アメリカ英語とイギリス英語	

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2		
学年	1	科	普通科	専攻・コース	中高一貫		
教科書	新編 化学基礎（教研出版）		副教材	セミナー化学基礎（第一学習社）			
学習到達目標	化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方をすることができる。						
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・化学に興味・関心を持って、授業を受けることができる。 ・化学の基本的な概念や原理・法則を理解することができる。 						
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考			
前期 第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・混合物と純物質 ・原子と元素 ・物質の三態 		<ul style="list-style-type: none"> ・物質を混合物と純物質に分類することができ、混合物から純物質を得る分離・精製の方法を理解する。 ・元素を元素記号で表すことができる。 ・单体・化合物・同素体・成分元素の検出方法を理解する。 ・物質には固体・液体・気体の3つの状態があることを確認し、熱運動について理解する。 ・絶対温度の定義を理解する。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造 ・電子配置 ・イオン ・周期表 		<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造、同位体を理解する。 ・原子の電子配置と価電子の意味を理解する。 ・イオンの電子配置を理解する。 ・多原子イオンの種類やイオンからなる物質の構造と化学式の表し方を理解する。 ・周期律と周期表の特徴を理解する。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン結合 ・分子と共有結合 ・電子式 		<ul style="list-style-type: none"> ・イオン結合を理解する。 ・イオンからなる物質の種類や表し方・特徴的な性質・利用法などを理解する。 ・共有結合を理解する。 ・分子式、電子式、構造式で表すことができる。 				

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
後期 第1回定期試験	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・配位結合 ・分子の極性 ・高分子化合物 ・金属結合 	<ul style="list-style-type: none"> ・配位結合を理解する。 ・電気陰性度を理解する。 ・高分子化合物を理解する。 ・金属結合を理解する。 	
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の相対質量 ・原子量 ・分子量 ・式量 ・物質量 ・モル質量 ・モル体積 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の相対質量を理解し、原子量、分子量、式量の定義を理解する。 ・物質量の概念を理解し、数値的な扱いができる。 ・モル質量、モル体積を理解する。 	
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・溶液の濃度 ・化学反応式 ・イオン反応式 ・化学反応式が表す量的関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーセント濃度やモル濃度の定義を理解し、扱いに慣れる。 ・化学変化を化学反応式やイオン反応式で表すことができる。 ・化学反応式やイオン反応式を元にして、量的関係を把握できる。 	
学年 年末試験	前期			
	中期			
	後期			

・酸と塩基の反応、酸化還元反応については、補習を行います。

教科	国語		科目	国語総合		単位数	5
学年	4	科	普通	専攻・コース	中高一貫		
教科書	大修館書店 「精選国語総合新訂版」			副教材	第一学習社「標準古典文法」 同社「ワークノート」他		
学習到達目標	①古文・漢文の基本的文法知識や古典常識を身につけ、比較的平易な古典を読解することができる。 ②現代の評論・小説を正しく読み取り、その感想や批評を自らの言葉で話したり書いたりすることができます。						
評価の観点	①定期試験において古典文法・常識・読解問題でどの位得点できるか。 ②授業、教材の予習・復習において、自ら進んで学習する姿勢があるか。						
期	月	学習内容・項目		学習のポイントと到達目標		備 考	
前期 第1回定期試験	【古典文法】 「歴史的仮名遣い」 「品詞の識別」 「動詞活用の9種類」		<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができる。 用言の活用語尾による識別。 動詞の「基本形」から活用の種類を見分け、活用表を完成することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 古典文法小テスト 百人一首（20首）定期試験範囲 「読む問題集」GW読書課題 		
	【古文読解】平易な説話 『沙石集』より「ねずみの婿取り」		<ul style="list-style-type: none"> 仮名遣い・古文独特の語彙 内容読解（現代語訳） 				・ベネッセ教材課題
前期 第2回定期試験	【古典文法】 「形容詞・形容動詞活用」 「用言活用総合」		<ul style="list-style-type: none"> 形容詞・形容動詞含め、文中の活用された状態で、用言の「活用の種類」と「活用形」が識別できる。 		<ul style="list-style-type: none"> ベネッセ教材課題 古典文法小テスト 百人一首（20首）定期試験範囲 		
	【古文読解】説話『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」		<ul style="list-style-type: none"> 仮名遣い・用言識別 内容読解・批評 芥川「地獄変」との比較 		<ul style="list-style-type: none"> 古典文法小テスト 百人一首（20首）定期試験範囲 『地獄変』読書課題 		
前期 期末試験	【現代文】説話に関連した近代小説 『羅生門』		<ul style="list-style-type: none"> 高校現代文語彙の理解 登場人物の「心理」把握 				
	【古典文法】 「時・打消・推量の助動詞」		<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の接続の理解 助動詞の活用の暗記 助動詞の意味の識別 		<ul style="list-style-type: none"> 古典文法小テスト 百人一首（20首）定期試験範囲 		
後期 第1回定期試験	【古文読解】『徒然草』 「序文」「これもまた仁和寺の法師」「高名の木登り」		<ul style="list-style-type: none"> 古典隨筆の意義理解 助動詞識別・内容読解 仏教的觀点、隱者文学理解 		<ul style="list-style-type: none"> 「読む問題集」読書課題 		
	【現代文】「隨想」 茂木健一郎「挑戦」		<ul style="list-style-type: none"> 筆者の「想い」の把握 語彙の拡張 古典隨筆との比較・批評 		<ul style="list-style-type: none"> ベネッセ教材課題 		

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
後期 定期試験	【古典文法】 「打消推量・尊敬・断定などの助動詞」		<ul style="list-style-type: none"> 助動詞の接続の理解 助動詞の活用の暗記 助動詞の意味の識別 	
	【古文読解】『枕草子』 「春はあけぼの」「はしたなきもの」「雪のいと高う降りたるを」		<ul style="list-style-type: none"> 助動詞識別・内容読解 筆者の「想い」の把握 敬語の基礎的知識 	
	【漢文】 「送り仮名・返り点・再読文字」「格言」		<ul style="list-style-type: none"> 古典三大隨筆の認識 漢文用語の理解 返り点用法修得 再読文字修得 「訓点付き漢文」を「書き下し文」にできる 	
後期 定期試験	【漢文】故事成語 「虎の威を借りる」「朝三暮四」「蛇足」句形「否定形」		<ul style="list-style-type: none"> 書き下し・再読文字、置き字の確認 内容読解（現代語訳） 部分否定、全否定、二重否定 	
	【古文読解】『伊勢物語』 「芥川」「東下り」		<ul style="list-style-type: none"> 助動詞識別・古典常識 内容読解（現代語訳） 和歌の修辞理解 	
	【古文読解】『平家物語』 「序文」「木曾の最期」		<ul style="list-style-type: none"> 敬語・助動詞等文法の確認 軍記物語、無常など平家物語の文学史的背景の把握 音便形の把握 	
学年 末試験	【漢文】史話 「臥薪嘗胆」句形「疑問形」		<ul style="list-style-type: none"> 漢文の長文の内容読解 訓読の確認 様々な疑問詞の把握 	
	【現代文】評論 香山リカ「空気を読む」		<ul style="list-style-type: none"> 論点、グラフの把握 語彙の拡張 コミュニケーションに関する意見 	

教科	数学	科目	数学ⅠA	単位数	6		
学年	1	科	普通科	専攻・コース	中高一貫		
教科書	新編 数学Ⅰ (数研出版) 新編 数学A (数研出版)		副教材	基本と演習テーマⅠ+A (数研出版)			
学習到達目標		数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形の性質、整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
評価の観点		1 関心・意欲・態度、2 知識・理解、3 数学的な見方や考え方、4 数学的な技能を定期試験、授業態度、課題提出、ノート提出などにより総合的に評価する。					
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考			
前期 第1回定期試験	式の計算 実数 1次不等式 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> 整式の加法、減法、乗法ができる。 整式の因数分解ができる。 根号を含む式の計算ができる。 一次不等式を解くことができる。 絶対値を含む方程式・不等式を解くことができる。 集合の共通部分と和集合を求めることができる。 命題の真偽、逆、裏、対偶を答えることができる。 必要条件と十分条件の違いが分かる。 					
前期 第2回定期試験	2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> $y = a(x-p)^2 + q$ のグラフをかくことができる。 平方完成をし、2次関数の頂点と軸を求めることができる。 2次関数の最大値と最小値を求めることができる。 通る点などの条件から2次関数を決定することができる。 2次方程式の解の公式を利用できる。 2次関数のグラフと x 軸の位置関係を分類できる。 2次不等式を解くことができる。 					
前期 期末試験	三角比 三角形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 三角比の値を求めることができる。 三角比の相互関係を理解できる。 拡張した三角比の値を求めることができる。 三角比の方程式を解くことができる。 正弦定理を利用できる。 余弦定理を利用できる。 三角形の面積の公式を利用できる。 三角比の性質を応用することができる。 					

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
後期 第1回定期試験	データの分析 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> データの平均値、最頻値、中央値を求めることができる。 データの範囲、分散、標準偏差を求めることができる。 データの四分位数を求め、箱ひげ図をかくことができる。 データの相関について理解できる。 樹形図、和の法則、積の法則使って、場合の数を数えることができる。 順列の総数を数えることができる。 円順列と重複順列の総数を数えることができる。 組み合わせの総数を数えることができる。 同じものを含む順列の総数を数えることができる。 		
後期 第2回定期試験	確率 平面图形	<ul style="list-style-type: none"> 確率の基本性質、和事象、余事象を理解できる。 独立な試行、反復試行の確率について理解できる。 条件付き確率について理解できる。 角の二等分線と比について理解できる。 シェバの定理、メネラウスの定理を使うことができる。 接弦定理、方べきの定理を使うことができる。 2つの円の関係について理解できる。 空間における直線と平面について理解できる。 多面体の性質を理解できる。 		
学年末試験	約数と倍数 ユークリッドの互除法 整数の性質と活用	<ul style="list-style-type: none"> 約数と倍数について理解できる。 2つ以上の自然数における最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 割り算における商と余りの性質について理解できる。 ユークリッドの互除法で2つの自然数の最大公約数を求めることができる。 $ax+by=1$ の整数解をすべて求めることができる。 ユークリッドの互除法で一次不定方程式の整数解の1つを見つけることができる。 有限小数と循環小数の判定ができる。 n進法について理解できる。 		

教科	地理歴史科	科目	世界史 A	単位数	2 単位			
学年	1 年	科	普通科	専攻・コース	中高一貫			
教科書	実教出版 世界史 A		副教材					
学習到達目標		1 近現代史を中心とする世界の歴史を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。 2 現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考を培う。 3 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。						
評価の観点		<ul style="list-style-type: none"> 近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 						
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考				
前期 第1回定期試験		<ul style="list-style-type: none"> 帝国主義の時代 第一次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> 帝国主義時代の背景を考察し、19世紀の資本主義列強が行った对外膨張政策について理解する。 第一次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解させ、平和の意義などについて考察させる。 					
前期 第2回定期試験		<ul style="list-style-type: none"> ロシア革命 ヴェルサイユ・ワシントン体制 1920年代の欧米諸国 世界恐慌 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦はロシア革命とドイツ革命を勃発させ、終結から戦後処理ではアメリカが大きな役割を果たしたこと、また、現在のパレスティナ紛争の背景に大戦中の密約があることを理解させる。 世界恐慌がどのようにして起こったのかを理解させるとともに、この影響でドイツの賠償問題やその後のドイツの政治状況がどうなったのかを考えさせる。 					
前期 期末試験		<ul style="list-style-type: none"> ブロック経渉 ヒトラーの支配 第一次世界大戦後の民族運動の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> ナチスが一党独裁体制を作り上げた歴史的過程を押さえ、なぜヒトラーがドイツにおいて政権を獲得できたのかについて考えさせる。 第一次世界大戦中・戦後の国際状況が植民地・従属国に与えた影響を考察させ、各地域の民族運動の特質を理解させる。 					

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
後期	第1回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 満州事変 第二次世界大戦の勃発と終結 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解させ、平和の意義などについて考察させる。 	
	第2回定期試験	<ul style="list-style-type: none"> 冷たい戦争の時代 アジア・アフリカ諸国の独立と混乱 	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。 	
	学年末試験	<ul style="list-style-type: none"> ベトナム戦争 中ソ対立と多極化の進展 冷戦の終結 	<ul style="list-style-type: none"> 戦後史の大転換点となったベトナム戦争における民族解放、反植民地主義の動向を理解させる。 アメリカがベトナム戦争にどのように関わり、なぜ敗北したかを考察し、ベトナム戦争が冷戦構造にどのような影響を与えたのかを考察させる。 マルタ会談が行われた背景を考察し、どのように冷戦が終結したのかを理解する。 	

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	4		
学年	1	科	普通	専攻・コース	中高一貫		
教科書	高等学校生物基礎(第一学習社)		副教材	セミナー生物基礎(第一学習者)			
学習到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方ができるようになる。						
評価の観点	①生物・生物現象に関心を持っているか。 ②授業に積極的に取り組めているか。 ③学習内容に関する知識・技能が身についているか。						
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考			
前期 第1回定期試験		<ul style="list-style-type: none"> ・生物の共通性と多様性 ・細胞の構造 ・細胞の代謝 	<ul style="list-style-type: none"> ・現存する多様な生物には共通性があり、その共通性は共通の起源をもつことに由来することを理解できる。 ・細胞内の基本的な構造に関して、体の働きと関連付けて理解することができる。 ・細胞内でエネルギーとなる有機物がどのように合成されているのかを、細胞内の構造と関連づけて理解することができる。 				
前期 第2回定期試験		<ul style="list-style-type: none"> ・酵素 ・生体内のエネルギー物質 ・共生説 	<ul style="list-style-type: none"> ・生体内の化学反応が酵素によって促進されていることを酵素の働きかたの特徴とともに理解することができる。 ・生物のエネルギー源となる物質であるATPが生命活動に広く利用されていることを理解することができる。 ・ミトコンドリアと葉緑体が原核生物に由来することと、その根拠について理解することができる。 				
前期 期末試験		<ul style="list-style-type: none"> ・DNA ・遺伝に関する研究史 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の本体であるDNAが持つ特徴に関して理解ことができる。 ・DNAがどのように生物の遺伝情報を保存しているのかをDNAの構造と関連付けて理解することができる。 ・遺伝情報を伝達する物質がどのような 				

		に明らかにされていったのかを実験の目的と手法から理解することができる。	
		・細胞内でのタンパク質の合成	・DNAからタンパク質が合成されるまでの働きをDNAの構造の特徴、細胞内の構造体の働きと関連付けて理解することができる。
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標
後期 第1回定期試験		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム ・体液の組成 ・血液の働き 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物のゲノムに関して、既習事項であるDNA、遺伝子との相違点を整理しながら理解することができる。 ・生物の体内環境と体液の種類や働きを関連付けて理解することができる。 ・体の働きを維持するうえで血液がどのような役割を持つのかを理解することができる。
後期 第2回定期試験		<ul style="list-style-type: none"> ・体液の循環 ・肝臓の働き 	<ul style="list-style-type: none"> ・体内での体液の循環を中学校までの既習事項に関連付けて理解することができる。 ・体内の恒常性にとって重要な働きをする肝臓の構造を他の臓器との違いに着目し、とらえることができる。 ・肝臓のさまざまな働きを体内の恒常性と関連付けながら理解できる。
学年 末試験		<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内の水分の移動 ・体液の濃度の調節 	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞内における水分の移動について、身近な事象に関連付けながら規則性を理解することができる。 ・体液濃度の維持の仕方を、単細胞生物、海産無脊椎動物等、異なる生物種ごとに原理を理解することができる。

・腎臓の働き

・哺乳類の体液濃度調節の場となる腎臓の基本的な構造、働きについて理解することができる。

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2		
学年	1	科	普通科	専攻・コース	中高一貫		
教科書	地学基礎（東京書籍）		副教材	ニューステップアップ地学基礎（東京書籍）			
学習到達目標	地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、地学的な見方や考え方をすることができる。						
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 地学に興味・関心を持って、授業を受けることができる。 地学の基本的な概念や原理・法則を理解することができる。 						
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考			
前 期 第 1 回 定 期 試 験	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグバンと宇宙の誕生 ・宇宙の晴れ上がり ・宇宙原理と宇宙の膨張 ・天体の誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の誕生について理解することができる。 ・宇宙の晴れ上がりを理解することができる。 ・宇宙原理を理解することができる。 ・天体の誕生を理解することができる。 				
前 期 第 2 回 定 期 試 験	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・銀河 ・ブラックホール ・宇宙の大規模構造 ・太陽系の誕生と進化 ・惑星 ・小惑星 ・彗星 	<ul style="list-style-type: none"> ・銀河、ブラックホールを理解することができます。 ・宇宙の大規模構造を理解することができます。 ・太陽について、表面付近に見られるようす、エネルギー源、進化について理解することができます。 ・太陽系の天体について、新しい定義に基づいた分類を知り、太陽系の進化を理解することができます。 				
前 期 末 試 験	前期	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽の進化とその最後 ・太陽の特徴 ・太陽の活動 ・地球型惑星 ・木星型惑星 ・太陽系外縁天体 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽は核融合反応でエネルギーを生成していることを理解することができます。 ・太陽の進化、特徴を理解することができます。 ・太陽の活動の変動が、地球にも大きく影響していることを理解することができます。 ・惑星の特徴を理解することができる。 				

期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備 考
後 期 第 1 回 定 期 試 験	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・原始地球の誕生 ・先カンブリア時代 ・古生代 	<ul style="list-style-type: none"> ・原始地球の誕生について理解することができます。 ・先カンブリア時代の環境と生物を知る。 ・エディアカラ動物群の特徴をとらえることができる。 ・古生代の環境と生物を知る。 ・カンブリア爆発、陸上への生物の上陸、古生代末の大量絶滅など時間の流れと環境の変化の中でとらえることができる。 	
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・中生代 ・新生代 ・地層の形成 ・堆積岩の分類 	<ul style="list-style-type: none"> ・中生代の環境と生物を知る。 ・ハチュウ類、特に恐竜、被子植物の出現、白亜紀の大量絶滅を関連付けて理解することができます。 ・新生代の環境と生物を知る。 ・大陸配置の変化に伴う草原の出現と哺乳類の進化、氷河時代について理解することができます。 ・人類の進化を系統立てて理解することができます。 ・地層が形成される仕組みや場所を理解することができます。 ・堆積岩の分類を理解することができます。 	
	学年 末 試 験	<ul style="list-style-type: none"> ・地層累重の法則 ・示準化石 ・示相化石 ・地質構造 ・变成岩 	<ul style="list-style-type: none"> ・地層累重の法則について理解することができます。 ・示準化石による年代決定、示相化石による環境推定について整理して把握することができます。 ・しうう曲・断層・不整合を理解することができます。 ・变成作用を理解し、变成岩の特徴をとらえることができる。 	

教科	地理歴史科	科目	日本史A	単位数	2単位		
学年	1年	科	普通科	専攻・コース	中高一貫		
教科書	第一学習社 高等学校 日本史A		副教材				
学習到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察されることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
評価の観点	<p>a. 関心・意欲・態度 歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。</p> <p>b. 思考・判断・表現 歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している</p> <p>c. 資料活用の技能 歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。</p> <p>d. 知識・理解 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p>						
期	月	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	備考			
前 期 第 1 回 定 期 試 験	第2部 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 ① せまってくる外国船 ④ 握らぐ幕藩体制	・江戸時代の日本の対外関係について理解する。 ・江戸時代後期の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する					
	第2節 開国と幕末の動乱 ① 黒船がやってきた ② 志士たちの時代	・開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 ・開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。					
前 期 第 2 回 定 期 試 験	第2節 開国と幕末の動乱 ③ 手を結ぶ薩長 ④ 近代との出会い	・幕末から明治初期の使節・留学生の派遣、外国人の招聘により欧米文化が導入されたことを理解する。					
	第3節 近代国家の形成 ① 江戸が東京になった ② 天皇の軍隊がつくられた	・明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。					

前 期 末 試 験	第3節 近代国家の形成 ③ スローガンは「富国強兵」 ④ 欧米文化がはいつてきた ⑤ 日本の国境が定まった ⑥ 爆発する農民や士族の不満 ⑦ 国会開設が決まった ⑧ 地主制が進行した	・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。 ・この時期に、日本の領土が国際的に確定したことにも理解する。	
	⑨ 立憲政治がはじまつた ⑩ 国会がはじめて開かれた	・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。	
後 期 第 1 回 定 期 試 験	第4節 国際関係の推移と近代産業の発達对外関係の変化 ① 欧米と肩を並べる国をめざして ② 清国との対立が深まつた ③ 藩閥と政党が接近した。 ④ ロシアとの戦争がおこつた	・明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢が密接に関係し、進められたことを理解する。 ・日清・日露戦争の経緯と結果、また、この戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張をおこなつたことを理解する。	
	⑤ アジアへの勢力拡大がはじまる 第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第1節 第一次世界大戦と日本 ① 民衆が政治を動かし始めた	・日清・日露戦争において、政党政治が展開したこと理解する。また、日露戦争後の国民の負担や、政府による精神的な引き締めについて理解する。	
	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展 ⑦ 縿糸と生糸が支えた産業革命 ⑧ 欧米の資本主義に仲間入りした	・日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命がおこり、資本主義が確立したことを理解する。 ・資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する。	
後 期 第 2 回 定 期 試 験	⑨ 貧富の差が広まつた 第1節 第一次世界大戦と日本 ② 最初の世界大戦に日本も参戦した	・第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がりと、大正期における政党政治の展開について理解する。 ・第一次世界大戦に日本が参戦した意図、日本の外交方針の推移について理解する。	
	③ 成金の時代がやつてきた ⑨ 学問と芸術に新風が吹く ⑥ 「平民宰相」が登場した	・第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について理解する。 ・大正デモクラシーの風潮のなか、あらたな学問・芸術が生まれたこと、都市の発展などを背景に大衆文化が誕生したこと理解する。	
学 年 末 試 験			

a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見いだし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見いだし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。